

# 特別支援教育、ユニバーサルデザイン

## 視認性を高めた教科書体を新開発

特別支援教育に関わる先生方や弱視の児童に調査を行い、文字の太さや形の適正化をはかり、読みやすさ、書き写しやすさを向上させました。なお、開発にあたっては、慶應義塾大学中野泰志教授にご協力いただきました。

従来  
↓  
新書体

新しい算数  
新しい算数

## 学習に集中できる落ち着いた色使いと、読み取りやすさの実現

先生の声

特に低学年では、星形の記号が書きにくいこともありますね。

従来の教科書

2 下の ②は、もとの大きさの  $\frac{1}{2}$  といえますか。

① もとの大きさ

② もとの大きさ

③ もとの大きさ

2 もとの大きさの  $\frac{1}{2}$  をいくつあつめると、もとの大きさになりますか。

1 長方形の紙を半分にわって、もとの大きさを作りましょう。

2 下の ⑦, ①は、もとの大きさの  $\frac{1}{2}$  といえますか。

① もとの大きさ

② もとの大きさ

③ もとの大きさ

改訂の核心!

シンプルな記号を採用し、ノートに書きやすいデザインにしました。

例

1 → 1  
1 → 1

新しい教科書

2 もとの大きさの  $\frac{1}{2}$  をいくつあつめると、もとの大きさになりますか。

1 長方形の紙を半分にわって、もとの大きさを作りましょう。

2 下の ⑦, ①は、もとの大きさの  $\frac{1}{2}$  といえますか。

① もとの大きさ

② もとの大きさ

③ もとの大きさ

色数、色調の工夫

落ち着いた雰囲気の紙面としました。

▲ 2年下 p.84

重要用語のとらえやすさへの配慮

ひと目で分かるように、太文字の使用に加え、波線を付けました。

読みやすさの重視

すべての文章を読みやすい位置で改行しました。

データの中で、最も多く出てくる値を最頻値、またはモードといいます。

最も多く出てくる値が複数ある場合、それらの値はすべて最頻値だよ。

180ページの1組のとんだ回数を表すドットプロットでは、最も多く出てくる値は62なので、1組のとんだ回数の最頻値は62回です。

62回とんだ日が3日でいちばん多い。最頻値は3日ではなく62回だよ。

▼ 5年下 p.46

ページ番号の強調

他の数字と区別し、目立たせて認識しやすくしました。また、単元のまとまりがとらえやすいように、単元ごとに色を変えました。

まとめ

平行四辺形の面積は、△形の特徴ように注目して、面積の求め方がわかっている長方形に形を変えれば求めることができる。

あみ 長方形や正方形のように、面積を求める公式はつくれないかな。

重要項目を枠囲み

本時の問題や学習のまとめを枠で囲み、重要項目に着目しやすくしました。

46

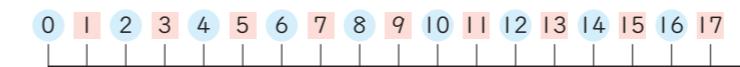
## カラー・バリアフリーへの配慮

「色覚問題研究グループはする」様に、全ページに渡り色覚特性に関わるチェックをして頂きました。

カラー・バリアフリーの観点から、図やグラフには色のみの区別は避け、形や模様でもきちんと区別できるように配慮しました。

▼ 5年上 p.98

3 数直線で、偶数と奇数は、どのようにならんでいますか。



▼ 6年 p.197

データ4 年代別の自動運転自動車を利用したいかどうかの調査(各年代400人が回答)

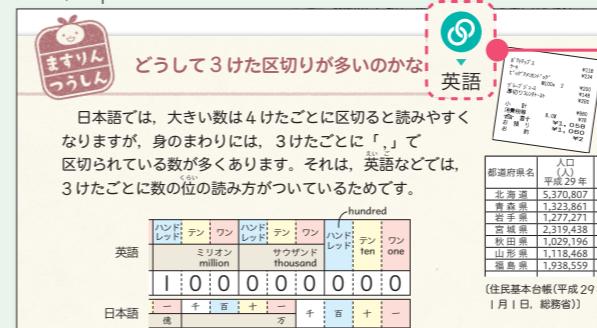
年代	利用したい	利用を考えてもよい	あまり利用たくない	利用したくない	その他
20代以下	18.3	35.6	20.3	12.8	13.0
30代	17.8	37.1	22.3	15.8	7.0
40代	15.8	36.8	23.3	15.8	8.3
50代	10.8	42.4	26.0	15.8	7.0
60代以上	16.8	40.9	20.3	13.0	9.0

(情報通信白書(平成27年版、総務省)をもとに自社で作成)

## 他教科関連、カリキュラム・マネジメント

### 他教科との関連を特に意図した箇所は⑤マークで明示

▼ 4年上 p.13



英語に触れる機会となる箇所で、関連を明示しました。外国の言語や文化への理解を促進します。

理科の4年で天気と気温を学習する際に活用する折れ線グラフの単元には関連を明示しました。

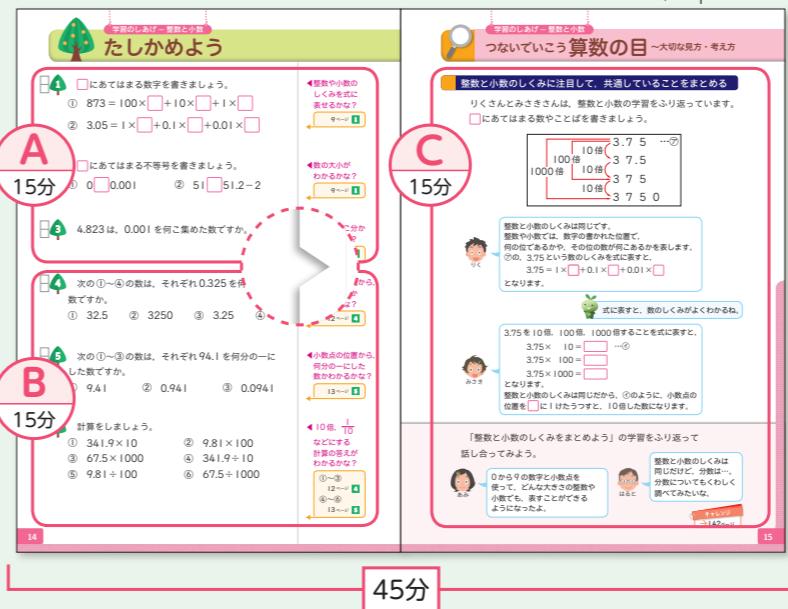
▼ 4年上 p.21



### 短時間学習での活用への配慮

単元末「たしかめよう」には、15分の使用を目安に区切りのマークを付けました。単元末の1コマ(45分)は3分割し、短時間学習で扱うことも可能です。

▼ 5年上 p.14~15



例: 5時間扱いの単元の場合

#### 使用イメージ例①

45分×5コマ

単元末も通常の1単位時間で扱う場合

短時間学習(15分)	読書など	読書など	読書など	読書など	読書など
1コマ(45分)	本文	本文	本文	本文	単元末(A)(B)(C)

#### 使用イメージ例②

15分×3コマ  
45分×4コマ

単元末を15分毎に3分割し、短時間学習で使用する場合

短時間学習(15分)	読書など	(A)	読書など	(B)	(C)
1コマ(45分)	本文	本文	本文	本文	新单元